

規制緩和・自由貿易の 正体と差し迫る危機

～命と暮らし、地域を守るために私たちのできること～

規制緩和・自由貿易が加速しています。一方、日本の食糧自給率は38%となり、食の外国依存は増すばかりです。この6月29日には、米国を除く11カ国が署名した環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の関連法が、参院本会議で可決成立し、協定は早ければ年明けにも発効するといえます。でもマスコミでは問題点はあまり報道されません。TPP11は今後どうなるのでしょうか。日米二国間協議で日本は何を約束しているのでしょうか。日本の食と農林水産業を持続的に維持するためにはどうしたらいいのでしょうか。食の安全・安心はどうなっていくのでしょうか。食料主権はどうしたら守っていけるのでしょうか。アジア諸国との経済連携はどう図っていったらよいのでしょうか。私たちができることは何なのか？協同組合の役割は？存分にお話をして頂こうと思います。

2018年11月8日(木) 14:00～16:00

新横浜 生活クラブ オルタナティブ生活館スペースオルタ
横浜市港北区新横浜2-8-4（JR横浜線新横浜駅下車徒歩7分）

プロフィール：鈴木宣弘さん

経済学者。1958年三重県生まれ、東京大学大学院農学生命科学研究科教授。専門は農業経済学。三重県志摩市出身。東京大学農学部卒。農林水産省入省。九州大学農学部助教授、教授を経て、2006年9月から現職。食料・農業・農村政策審議会委員等を歴任。『岩盤規制の大義』（農文協、2015年）、『悪夢の食卓TPP 批准・農協解体がもたらす未来』（KADOKAWA、2016年）、『亡国の漁業権解放 資源・地域・国境の崩壊』（筑波書房ブックレット・暮らしのなかの食と農）等、多数。

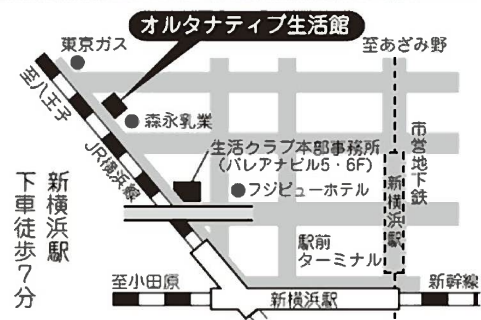


保育：ありません

お問い合わせ

神奈川県消団連 丸山 神奈川県生協連 石田
電話：045-473-1031

生活クラブ神奈川の施設 オルタナティブ生活館（オルタ館）



主催：神奈川県協同組合連絡協議会・神奈川県消費者団体連絡会